

会報 の発刊にあたって

天野勝昭

り設立総会を開催し、現在二百十六名の会員にご 間達との交流の場、そして新しい情報発信の源と た活動基本方針のとおり、皆様の活動成果を発表 参加いただいておりますが、設立総会でお示しし して頑張っていかなければと思います。 していただく場、情報交換の場、 昨年十月十四日に大変多くの方々のご協力によ 県内、 全国の仲

城四百年事業の責任者として初めて岡山の礎が宇 平成六年度から九年度末までの四年間、 喜多直家・秀家父子によって創られたことを実感 り関心を持っていなかったのが正直なところで いことではありますが、郷土の歴史に関してあま しました。 会長を務めさせていただく私自身誠に恥ずかし 岡山城築

設立総会で挨拶する

を生かした活動に取り組んでおられることと思い

会員の皆様も各地で郷土の歴史を顕彰し、

それ

天野会長

北区平山 844-86 (山本方) にお願いしました。 野大漸氏 は書画・アートディレクター菅 本会報のロゴデザインの筆文字 (旧賀陽町上竹出身)

> 会を行い好評でした。 田永忠から学ぶ」の後、

「岡山文化に秘められた真髄-後楽園、

先生を囲んで後楽園見学

岡山市

連絡先

ます。

します。 も、この会報を充実していくためにご協力をお願 い申しあげまして創刊にあたってのご挨拶といた レーにより岡山から全国に情報発信するために 岡山歴史研究会はそうした活動を皆様の連携プ

岡山 歴史研究会設立総会の報告

百二十一人の参加を得て 盛会だった設立総会

席で会場一杯になりました。 国歴史研究会」58番目の連携団体に加わりました。 後楽園内の鶴鳴館の大広間で開催、 『岡山歴史研究会』は会員一九一人で発足し、「全 一二一人の出

成長発展できるように一緒に頑張りたい」と抱負 りが重要。岡山からも歴史情報を全国に発信して を述べました。 いく。皆さんの連携プレー、ネットワークで会が 秋の全国大会「吉備の国・岡山大会」の準備等を 一岡山の将来にとって、 行うことを決めました。会長に選ばれた天野氏は 初代会長には前岡山市副市長の天野勝昭氏 を決め、今年度は、 歴史を生かしたまちづく 例会、 会報の発行、 23 年

らご祝辞を頂きました。 来賓として「全国歴史研究会」吉成勇代表等か

終了後、吉備国際大学の臼井洋輔教授による記

県内の歴史愛好家の期待を受けて、 発展するよう役員一同頑張ってまいります。 (事務局長 会が一層成 山本

平成二十三年度定期総会のご案内

総会に引き続きパネルディスカッション

日時 山陽新聞さん太ホール 4月29日(祝日)14時~

★受付13時~ 総会14時~

★パネルディスカッション15時~

★参加費 無料(一般の方の参加歓迎

◎定期総会は平成22年度事業報告と決算、 の事業計画と予算(案)を審議。 新年度

清水 ◎パネルディスカッション「岡山の礎を語る―宇 と伝来の品を展示 総社商工会議所会頭。 によって開催。コーディネーター天野勝昭会長 喜多家から池田家へ」を、次の四名のパネラー 清水宗治兄の月清入道から16代目で 備中高松城水攻めのお話

と伝来の品を展示 矢野五郎右衛門の直系子孫。 関ケ原合戦後、 宇喜多秀家を匿った 秀家ゆかりのお話

万城あき氏 乗岡 実氏 等の調査研究 岡山城発掘調査等を担当 岡山県郷土文化財団研究員。 岡山市教育委員会文化財課文化財副 後楽園

設立総会記念講演 臼井洋輔先生

――後楽園、津田永忠から山文化に秘められた真髄 津田永忠から学ぶ」

下はその要約です。 演をしていただきました。 永忠から学ぶ」のテーマで講 められた真髄ー後楽園、 の臼井先生に「岡山文化に秘 を記念して吉備国際大学教授 山歴史研究会の設立総会 津田 以

た日本三名園の一つで、 公が津田永忠に命じ14年かけて造っ 番高い庭園である。 岡 屲 後楽園は岡山藩主、 中でも格が 池 田 綱政

堤等至る所に、

知恵を取り入れ、

代、大名庭園のエキスが含まれ日本 庭園史の縮図になっている。 奈良時代、平安時代、中世、 が多数残され素晴らしい。後楽園は 園内には樹種が多く貴重な文化財 桃山時

施されている。

水を池や滝に上手に利用した曲水で 4mも高い後楽園に水を引き、 美しさを捉えている。 イフォン式通水管で旭川の水面より 旭川の5 M上流から水を引き逆サ その

メンテナンスフリー れている。 津田永忠が残した数々の仕事には の精神が活かさ

①吉備津彦神社②閑谷学校③和意



講演中の臼井洋輔先生

⑥大多府島元禄防波堤⑦九蟠の防潮 けない為の工夫が見えないところに 谷池田家墓所④田原井堰⑤石の掛樋 天才的な発想と庶民 子孫に迷惑をか

「粋」を知る〉〈これから3百年の試 〈津田永忠の哲学と心〉 後楽園は〈岡山魂〉、比類無き価値〉 〈我々を鍛える〉。 「真髄」と

後楽園、 化の秘めた真髄である。 無いことを示している。 るものより見えないものに価値を見 岡山の文化は失敗から学び、 世の中に不要なものなど一切 津田永忠から学ぶ―岡山文 これが岡山 見え

(文責 山本敦)

歴史愛好家団体等のデータベース 作成についてご協力を!!

よびかけ

顧問 柴田 天野勝昭

ませんでした。 のデータをとりまとめたものはあり これまで県内の歴史愛好家団体等

を、改めて全国の愛好家にお示しす とから岡山が歴史の宝庫であること 展開していくことが全国への情報発 を活用して、各団体が連携プレーを べきデータベースを完成させ、 県内を網羅した団体リストともいう ましたので、これを機会に是非とも 体の関係者のご参加により設立され ることになると思います。 の原動力につながり、こうしたこ 岡山歴史研究会は多くの愛好家団 それ

です。 が、 ことを更に全国に情報発信すること 手数をかけますが何卒で協力いただ 設立した意義もそこにあろうかと思 ないでしょうか。岡山歴史研究会を きますことをお願い申しあげる次第 います。県下で初めての試みに、 る重要性を訴えることになるのでは れ実績をあげておられますが、 すでに多くの愛好家団体が活動さ 岡山エリアの日本の歴史におけ その

環境づくり検討会からのお知らせ 楽しみながら情報交換できる

討を進めております。 遠山義雄、 本松一郎の5名で検討会を設けて検 て、顧問野崎豊、 団体等のデータベース作成を目指し 岡 |山歴研のHP開設と歴史愛好家 鈴鹿真一の各氏と副会長 運営委員楫野史朗

標としており、データベースの作成 ス作成と管理にご協力を頂ける方を ております。 は今後調査票を作成し、それを関係 いします。 募っていますので皆様よろしくお願 団体等に回答をお願いしたいと考え HPの開設は平成23年度中を目 (副会長 更にHPとデータベー



『歴研』の書を元に肥松(縦34cm 139cm)の板に手彫り漆塗りの立派な扁 事務局の看板として掲げま 原材料の板は運営委員の井上秀男 彫刻は古屋野尚美様、漆塗り は岡本謙二様です。心から感謝申しあげ ます。(山本)

出

山の礎を築いた宇喜多家の実像をさぐる

(当会顧問

柴田

古代から歴史を見つめ続けた吉備

の中

山を伝えたい

(当会顧問

熊代哲士)

玉

0)

れた東西約2㎞

吉備の中山

は

匹

〈吉備の中山を守る会〉



http://kibinonakayama.com

陵には、 た小丘陵ですが

史跡の尾上車山古墳、 る宮内庁管理の中山茶臼山古墳、 とつとも考えられる矢藤治山古墳 古墳時代後期の石舟古墳等がありま 時代初期の大型前方後円墳であ 石棺を有する

さ」と古今集にも詠まれ、古から都 中山帯びにせる細谷川の音のさやけ にまで知られていました。この小丘 日本最古の前方後円墳 「まがねふく吉備 南北約25㎞の独立し 囲を水田に囲ま す。 国は西麓に鎮座しています。 された一宮が、 備山と呼ばれ、 や古代の祭祀場が存在し昔から神奈 国境としたこの山には数多くの磐座 ほぼ真ん中を旧備前国と備中 備前国は東麓に備中 旧国では最も大切と

ぱいの吉備の中山を私たちの手で守 開始した吉備の中山の清掃活動は、 ねてくれる人々の期待に応えたいと り後世に伝えたい、 多くの文化財と豊かな自然がいっ また、 ここを訪

国

満 10 のできない存在に成長発展してきた を重ね魅力ある地域づくりに貢献 と自負しています。 行事への協働など、「吉備の中山を 素晴らしい仲間を得て一歩一 守る会」は、 公民館や町内会等が企画する様々な 神社や地区の保幼稚園や小中学校、 行事での龍王太鼓の演奏・吉備津彦 演舞・手作りの赤米甘酒の販売・諸 年の節目を迎えた今、 域の歴史紹介・お正月の獅子舞 の輪も大きく広がりました。 地域にとって欠くこと 活動を開始して 更に精進 歩前進

たいと願っています。

〈宇喜多家史談会〉 とが本格的に市民に、 宇喜多直家、 よって岡山の礎を築いたのは、 史の節目でありました。それに の岡山城築城四百年という歴 国に情報発信されました。 たのは平成十三年十一月です 宇喜多家史談会が設立され そのきっかけは平成九年 秀家父子によるこ そして全

よく続いたものであります。 今年は平成二十三年であり 会の発足から十年、

> 就実大学の附属図書館、 と第一に、 会計報告に続いて講演を行いまし 2 の十年間の会の活動を顧みます 年に一 度の総会、 事業報告、 会場は

りの創作 会報 いろの感想や提言をお寄せいただ 掘した新史料の紹介、 会員の皆様の調査・研究の報告、 毎号にぎやかなものになり、 の発刊。 一は年に一 (文字作品)、その他いろ これには巻頭の挨拶、 一回の宇喜多家史談会 宇喜多家ゆか す 発

> た。 後に流され、 が戦いに破れ、僅かの家来と共に逃 足を運んでくださった方も多かっ れた伊吹山の矢野家訪問、 あります。関が原合戦の戦跡、 でに三十七号となっております。 正室豪姫の母方の石川県金沢などへ た伊豆八丈島 第三は秀家ゆかりの史跡めぐりで 八十四歳の生涯をおえ への慰霊訪問、 秀家が最 秀家の

謎が多いようで、 それにしても宇喜多家の歴史には これからの

> ります。 研究を深めていって頂きたく希望し ております。 で疑問の点を出し合って今後、 皆様からのご参加もお待ちしてお 岡山歴史研究会の会員



宇喜多家史談会秀家終焉地 訪問団の供養(H20.2月)

http://kouchinji.net/

卬

图

山歴

研

の旗

岡山で初の歴史研究会全国大会

吉備の国・岡山大会一記念講演と見学会一

平成 23 年 10 月 21・22・23 日の三日間

岡山歴史研究会設立1周年にあたる今秋、全国歴史研究会の第27回全国大会として【吉備の国・岡山大会】が開催されます。

第1日目(200名の予定: 県外120名 県内80名)は岡山全日空ホテルで式典、記念講演、懇親会を行います。第2日目(120名予定)、第3日目(80名予定)はバスによる見学会となります。大会成功に向けて2月26日東京本部から参加いただき、第1回実行委員会を開催しました。全国歴史研究会本部との役割分担で、県内大会参加者を募ることと併せて第1日目の大会要員や見学会のガイド、サポーター、随行車等の要員が相当数必要となるため実行委員を募りますのでご協力をお願いします。

全国大会の概要(予定)は以下の通りです。

- ★第1日目 10月21日(金)全日空ホテル 午後1時受付開始
 - 【第1部】 式典
 - 【第2部】 記念講演(演題は仮)
 - (1) 全国第 4 位の巨大古墳 造山古墳 講師 新納 泉先生(岡山大学文学部教授)
 - (2) 岡山の礎-宇喜多家から池田家へ 講師 柴田 一先生(当会顧問・就実大学名誉教授・前学長)【第3部】祝宴
- ★第2日目 10月22日(土)8時出発

見学会 古代吉備国と備中高松城址探訪 バス3台予定

全日空ホテル→吉備津神社→造山古墳→備中高松城址→講話&昼食→楯築遺跡→後楽園→ホテル 講話 備中高松城水攻め…清水宗治兄の子孫、清水 男氏

★第3日目 10月23日(日)8時出発

見学会 岡山藩郡代津田永忠の足跡と備前焼探訪 バス2台予定

全日空ホテル→閑谷学校→講演&昼食(備前焼伝統産業会館 3F)→史跡伊部南大窯巡り→備前長船 刀剣博物館→倉安川吉井水門(車窓から)→百間川(車窓から)→岡山城(解散式)

講話 備前焼について…備前陶芸美術館学芸員 or 備前焼作家

集委員会一同)
●岡山歴史研究会の初めての会報『歴研なお、投稿、寄稿等も歓迎いたします。(編なお、投稿、寄稿等も歓迎いたします。今後、会員おかやま』をお届けします。今後、会員おかやま』をお届けします。今後、会員おかやま』をお届けします。今後、会員



中世山城「岩屋城址」の探訪 案内人=山形省吾氏(当会顧問)

=中世美作山城連絡協議会会員 予定日=11月26日(土) or 27日 見 所=当会の会員である北氏を中心 に整備が進んでいる岩屋城址(津山市 中北上)の登頂を目指します。秋の美 作路を堪能しましょう。

人気の宇喜多の陣城も案内します。 担当=本松副会長



矢坂山(万成山・魚見山)界隈を探訪 案内人=野崎豊氏(当会顧問)

予定日=5月28日(土) or 29日 見 所=戦国時代金川の松田の拠点城 となった富山城跡や名前も珍しい北向 八幡宮など一般に知られていない隠れ た磐座(いわくら)などを探訪します。 担当=山崎副会長 ◇岡山歴研会員探訪会案内◇



設立総会に倉敷児島(株)ベティスミス会長大島邦雄氏(当会顧問)からヴィンテージのジーンズ生地で作った旗を寄贈いただきました。